

この紙のゴール：節のはたらきを見分け、時制の一致と相関接続詞を正しく使える / 語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。 知識・技能 各3点

(1) クラスの計画に賛成して	I think (that / what) this plan will work.
(2) 友だちのかばんが気になって	Do you know where (did she buy / she bought) that bag ?
(3) 先生から聞いたことを友だちに伝えて	He said that he (will / would) call me later.
(4) 友だちの長所を2つ挙げて	She is not only kind (but / and) also patient.

2 対話を通じるように () に英語を書こう。 知識・技能 各2点

A: Did you ask Ken () he is coming to the barbecue?
B: Not yet. I couldn't call him () my phone was dead.
A: () it is only Wednesday, we should tell the shop how many people are coming.
B: All right. I will send him a message right now.

3 自分のことを書こう。 思考・判断・表現 2点

自分の学校のいいところを、because を使って英語1文で書こう。

4 同じ「彼はそう言った」でも、that の節の動詞が2つに割れます。 思考・判断・表現 各2点

どちらも正しい英文です。
A He said that he was busy.
B He said that he is busy.

① 「彼は今も忙しい、と話し手が見ている」ことが伝わるのはどちらですか。記号で答えよう。

② なぜそう読めるのですか。「Aは……の時点に立って言い直しているが、Bは……」の形で理由を書こう。

解答

1		2	
(1)	that	(1)	whether
(2)	she bought	(2)	because
(3)	would	(3)	Though
(4)	but		

3（解答例） I like my school because it is not only quiet but also friendly.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	B	現在形のままにすると、今も成り立つ話として伝わる。
②	「Aは彼が言った時点に立って言い直している ので、今も忙しいかどうかには触れていない が、Bは現在形のままなので、今も忙しいと話 し手が見ていることになるから。」（一例）	時制の一致は「必ず過去にする決まり」ではなく、 どこから見て伝えるかの選択 —ここがこの単元の芯そのもの。「時制の一致だから」とだけ書いた答案には、ではなぜBも正しいのかを1行返す。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)that・(2)she bought・(3)would・(4)but—4問を同じ考え方ひとつでは書けません。「接続詞の単元だからthat」と当てにいった答案は(3)と(4)が落ちます。返却時は(2)を取り上げ、文全体が疑問文でも節の中は S + V のままであることに1分使ってください。
- ・大問1(1)は that を省いても正しい英文です。ただしここは「席に入れる合図」を書けるかを見る問題なので、空所に何も書かない答案は不正解とし、なぜ省けるのかを1行返してください。
- ・大問1(3)に will と書いた答案が出ます。今も有効な約束として言い直したのなら考え方は成り立ちますが、later だけでは今も生きているとは読めないので would を正解とします。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。標準版・発展版は語群なしの記入式で、(1)に if、(2)に since / as と書いた答案も正解です。
- ・大問2(3)は文頭なので大文字で書けているかも見てください。Even though / Although と書いた答案も正解にします。
- ・大問3は because のうしろが S + V になっていれば内容は問いません。**単語だけの理由**（× because the teachers）を見るところにしてください。発展版は2文で1つの解答です—1文目の not only と but also のあとに、同じ形が並んでいるかを見ます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、形だけを見ても選べません。②は「言った時点に立って言い直した／今も成り立つ話として言った」の趣旨が書けていれば表現は問いません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が時制の一致と相関接続詞まで届いていないので、大問1(3)(4)と大問4を外して14点満点で扱ってください。大問2は4つのはたらきの中で解けるので、この帯でもそのまま出せます。
- ・基礎固め帯は相関接続詞まで扱うので、大問1(3)と大問4を外して17点満点です。
- ・実力帯・入試帯は24点満点で扱えます。入試帯では大問3の2文目に具体を必ず書かせ、1文目のAとBが本当に2つの別のことになっているかを見てください。
- ・10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。